気軽に家庭菜園

ほうさくClub!

第221回 今月は

鍬（くわ）の選び方

グリーンファーム店にはたくさんの鍬があります。種類も値段もさまざまで、どれを選んだらいいのか悩んでしまいますね。鍬についてお話しします。

種類

平鍬

畑の土起こし、うね立て、土寄せ、あぜ塗りなど幅広い作業ができます。

上小鍬

上田小県地域で昔から使われてきた鍬です。上田地域は粘土質の畑が多く、通常の鍬だと曲がったり刺さりが悪かったりするので、厚めで先端のえぐりも深くなっています。重さがあるので男性向けではありますが、開墾や耕す作業に便利です。

信州鍬

長野県東北信全般で使われています。比較的やわらかい土質や家庭菜園には通常の厚さ、粘土質には厚いものが適しています。刃のえぐりは上小鍬より浅めです。

唐鍬

平鍬の厚いものより肉厚で頑丈。重さがあるので開墾や荒れた畑、硬い地盤の土起こし、タケノコ掘りに使います。

備中鍬

三本鍬、四本鍬があります。硬い土を砕き、やわらかくほぐして土中に空気を入れることができます。突き刺さりやすく、土離れが良いので粘土質の畑に重宝します。ジャガイモなど根菜類の収穫にも使えます。

三角ホー

三角形の鉄板の両側が刃になっているので、土を耕すことも除草もできる万能タイプの鍬です。立ったまま作業ができるので体が楽です。簡単なうねを立てたり、うねをならしたり、先端で種のまき溝を作ることもできます。側面がギザ刃になっているものは、除草に特化しています。

怒ホー

半月型の鉄板の中心の穴から草が出ていくので、溜まったり絡まったりしにくく、スムーズに作業ができます。草刈りだけでなく草削りや草抜き、土寄せ、土ならしもできる万能立鎌です。広範囲の作業が立ったままできるので楽です。

素材の種類

ステンレス製はさびにくく土離れが良く、鉄に比べて軽いので持ち運びが楽です。逆に、鉄製は重いですが、その分耕すのが楽です。柄が長いと腰を曲げずに済みます。畑が斜面の場合は、短い方が使いやすいです。

鍬の刃のアーチ（えぐり）が深い場合は突き刺さりやすいのですが、硬い土では鍬が負けてしまうのでアーチが浅い方が使いやすいでしょう。

手入れの方法

使ったらきれいに洗って泥を取っておくことが必要です。泥が付いているとさびが発生しやすくなります。さびが付くと土離れが悪くなり、作業しにくくなります。

直射日光や雨に当たると柄が曲がってしまうことがあるので、小屋などで保管しましょう。

さびないように刃先に油を塗っておくのは良いですが、柄に付かないように注意しましょう。柄に油が染み込むと、柔らかくなって元に戻らなくなります。鉄板部分が抜けやすくなったり、クサビが効きにくくなることがあります。

水につけておくという人もいますが、柄が朽ちやすくなるのでやめた方が良いです。

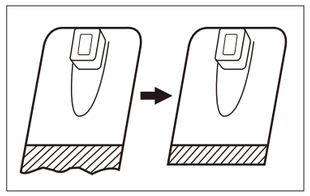
選び方のコツ

強い粘土質であれば、唐鍬や厚めの三本鍬がおすすめです。三角ホーは万能鍬として家庭菜園者や女性に人気があります。ステンレスの平鍬は軽いので女性にも使いやすく、鍬の皿にカーブがついているのでうね作りやマルチ張りの土寄せなどに便利です。

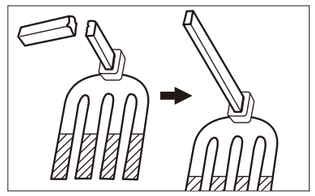
安い鍬は全鋼タイプが多いのですが、これは研ぐことができません。草の切れ味や土の刺さりが悪くなりやすいです。切れ味を重視したり、末永く使いたい場合は鋼付きの鍬がおすすめです。鋼が減れば先足しができますし、刃を研げば切れ味も持続します。

鍬の修理承ります

刃先の付け足しや研ぎ直し、柄の取り替えなど鍬の修理を承ります。お見積もりは無料！お気軽に鍬をお持ちください。



刃先直し・研ぎ直し



柄の取り替え

修理についてのお問い合わせ・ご依頼等は、各グリーンファーム店までお気軽にどうぞ。

ほうさくClub!に関してのお問い合わせは、各グリーンファーム店まで

◎中央店☎29-8177　◎東部店☎62-0665　◎西部店☎22-4091
◎さなだ店☎72-8072　◎まるこ店☎42-2977　◎よだくぼ南部店☎85-2400
◎しおだ店☎39-8118